

6. 龍谷大学

テーマ	DPの実質化を目指した、学生本人による学修状況可視化ツールの開発	
発表代表者	築地 達郎:龍谷大学 社会学部 准教授	
連名発表者	出羽 孝行:龍谷大学 文学部 教授 栢木 紀哉:龍谷大学 経営学部 准教授 寺川 史朗:龍谷大学 法学部 教授 只友 景士:龍谷大学 政策学部 教授 瀧本 真人:龍谷大学 国際学部 教授 生駒 幸子:龍谷大学 短期大学部 准教授	
キーワード	DP 卒業時の到達目標を達成するために必要な学修	学生が DP と各科目の関連を把握する
	自身の学修状況を把握	
発表の概要	この研究は、学生が各年次やセメスターにおいて、DP(卒業時の到達目標)に対する自己評価を行い、その差を埋めるために必要な学修内容を主体的に認識できるよう支援することを目的としている。現在、本学の DP は科目と紐づけて学生に提示されていないため、学生が日々の学習の中で DP を意識し続けることが困難な状況にある。そこで、他大学の DP 提示状況を調査し、それを参考に本学の DP 提示状況を検証した。その結果を基に、社会学部コミュニティマネジメント学科において、学生が自身の学修状況を自己点検できる「DP 概要版」を作成し、Excel のレーダーチャート機能を用いた可視化ツールを試行した。このツールにより、学生が自らの学修成果を測定し、主体的な学びを促進することを期待している。	